

# 小規模市町村向けコンビニ交付サービス・被災者支援システムのクラウド化の試行について

## 【試行の目的】

主に小規模市町村を支援するため、BCP 対策及びコンビニ交付サービスの普及促進策として、市町村の住民情報データを遠隔地へバックアップとして保管するとともに、コンビニ交付や被災者支援業務に活用するためのバックアップセンター（以下「クラウド型バックアップセンター(仮称)」という。）を構築して、その有用性を検証する。

## 【試行の内容】

参加団体の住民情報システムからクラウド型バックアップセンター（仮称）に対して住民情報データのバックアップデータを連携する。

連携したバックアップデータを、コンビニ交付サービス向けの証明発行（住民票の写し、印鑑登録証明書）及び被災者支援システムに活用する。

## 【参加団体】

高知県内の 3 団体（大豊町、土佐町、仁淀川町）

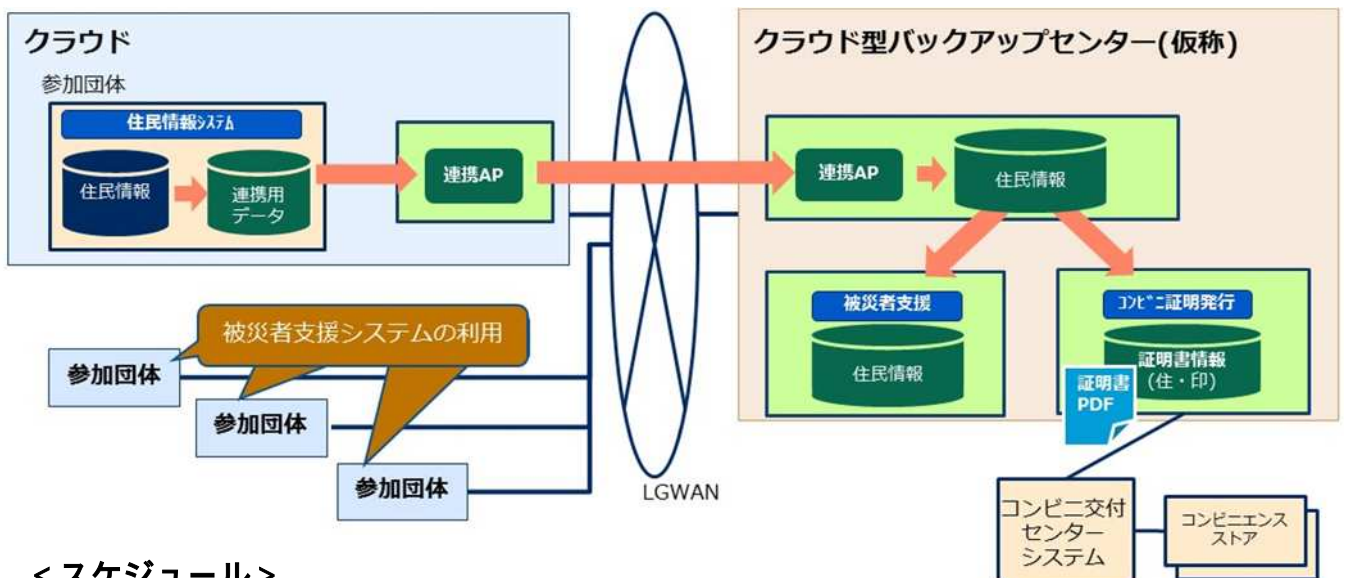
## 【試行期間】

2019 年度第 4 四半期～2020 年度末（予定）

## 【期待される効果】

- ・ 小規模市町村がコンビニ交付に参加する際の費用負担を軽減することにより、コンビニ交付サービスの導入促進に貢献できる可能性がある。
- ・ 住民情報データのバックアップ機能及び被災者支援システムをクラウド型（共同利用型）で提供することにより、市町村における BCP 対策及び被災者支援業務のさらなるシステム化に貢献できる可能性がある。

### <システム構成イメージ>



### <スケジュール>

	2019年 4月～6月	7月～9月	10月～12月	2020年 1月～3月	2021年 4月～3月
全体作業	参加団体側の準備作業 クラウド型バックアップセンター（仮称）構築		検証・試験	試行運用	